

平成27年度第1回目の

在宅介護教室を開催いたしました

岩内町社協では6月20日、岩内町認知症の人を支える家族の会（ゆづりはの会）との共催により岩内町老人福祉センターにおいて町民を対象とした第1回目の在宅介護教室を開催いたしました。

当日は三幸福祉カレッジ室蘭校の岡崎智美先生をお招きし「認知症の方への家族介護について」と題した座学形式の教室を開催。参加者44名は約1時間半にわたり最後まで真剣に学ばれておりました。

岡崎先生はまず「認知症」についてよく知り、理解することの大切さについて説明。途中、「しりとりゲーム」を交えながら会場の緊張感を適度にやわらげた後、講座は再開。つぎに岡崎先生は「認知症は早期発見・早期治療がとても大切である」ことを紹介したうえで認知症の早期発見についてのポイントや家族や知人が認知症になった場合どのようにサポートしたら良いのかについての説明がありました。

最後に、岡崎先生より【82才のレビー小体型認知症の男性を在宅で介護するご家族】の事例紹介があり、事例紹介後は4人グループに分かれての事例検討会、そして数グループからは検討結果についての発表もおこなわれました。

グループ発表後、岡崎先生から、この事例は自分の義父の話であることを打ち明け、実際に自分や自分の家族がどのように携わったのかについてのお話をされたのち、介護をする上では家族が健康で前向きに付き合っていくことが大切であること。また、地域が健康であれば地域がそういった家族を支えてくれること。そして家族介護の鍵は「自分の心の中」にあると思いますといったことを話され当日の在宅介護教室は終了いたしました。

【レビー小体型認知症とは】

レビー小体型認知症は現在アルツハイマー型認知症に次いで多い認知症といわれております。

特徴として初期の段階で物忘れよりも生々しい幻視（虫や動物、いるはずのない子供や人が見えたりする）が見られることが多くあります。また、妄想（実際には、ないことを本当の事と思い込んでしまい、自分の考えを訂正することがない）やパーキンソン病のような症状（手の震え、動作が遅くなる、筋肉が固くなる、身体のバランスを取ることが困難）といったものがあらわれる傾向があります。



岡崎先生の講座を学ばれる当日の参加者

アンケート集計をしたところ参加者より以下のご感想をいただきました！

- ★グループワークもあり、楽しく、実践的なお話をしていただき、ありがとうございました。
- ★色々な経験を交えての講演で、うなずくことがたくさんありました。企画して進めた方々を含め、ありがとうございました。
- ★これからの私達（老人二人の暮らし）の参考になりました。
- ★まだまだ、わからない事だらけ、もっといろいろな話を聞きたいと思います。
- ★介護保険払っているのに使われているのは一部では、本当に自分たちの時使えるのか、もっとわかりやすいサービスを身近に考えるためにも、このような教室をもっとあってもいいと思います。
- ★大変勉強になり何かのためになったらいいかと思えます。
- ★介護者は心のゆとりが必要であるとSOSネットワーク、悩みを聞いてやる。
- ★参考になった。
- ★先生自身の体験をもとにしたお話がわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ★お話しする声も聞きやすく、大変、参考になりました。話し合いをすると言う事も良かったと思えました。



ゆずりはの会のご厚意により当日の在宅介護教室を記録したDVDのご寄贈をいただきました。

残念ながら当日都合が悪くて参加できなかった方、このホームページをご覧になり興味をもった方は岩内町杜協（TEL0135-62-3328）までお気軽にご連絡下さい！無償でお貸出しいたします♪

